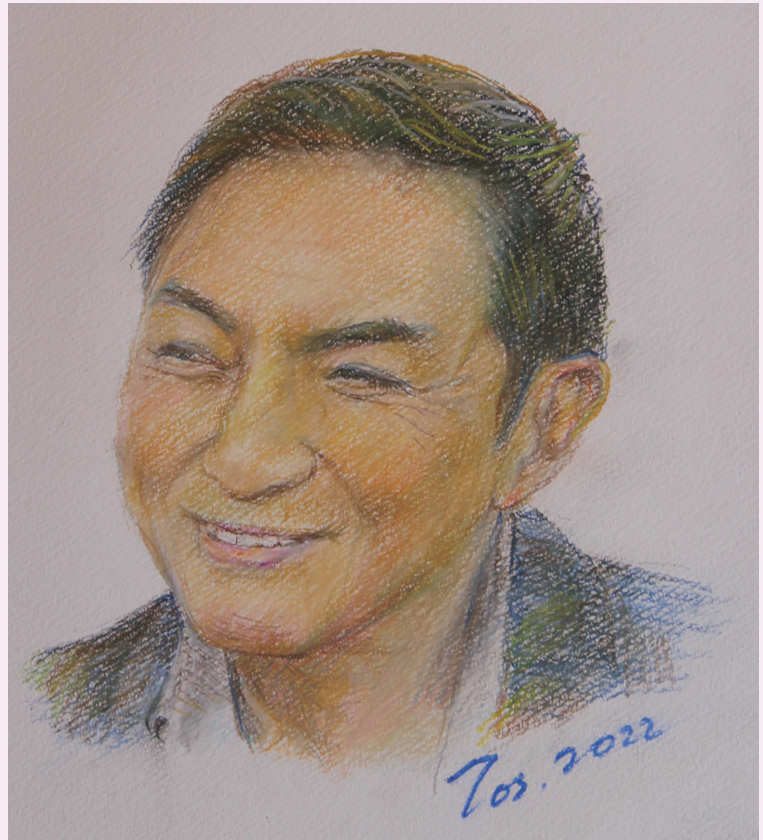


# 隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第65回

彫刻家 上床利秋

ありがとう、西郷輝彦さん。



けでなく男の子にも人気があった。

♪西郷隆盛、オイラの兄貴♪と歌う姿に、そうだ、自分も鹿児島県人だと共感したものだ。

そんな鹿児島市谷山出身の西郷輝彦さんは地元だからこそ聞こえてくるエピソードも多い。

高校生の時、修学旅行中に脱走？して東京に行き、先生方を大変困らせたというやんちゃな噂は私の公立高校教諭時代でも教員間でよく聞いた。

今はそれが本当なのかどうかは本人に確かめる術はないけれど、彼の大物ぶりを物語る伝説としてとらえていだろう。

私は俳優としての彼が『どてらい男』で大阪商人として成功していくドラマが好きだった。

「口約束でも絶対に約束は守る。」という信念を彼の主人公役に学んだ。

実際に地方から単身で大都会に出て行き、十代で知名度抜群の日本の大スターになった西郷輝彦さんに対して鹿児島

島の少年たちは憧れの兄貴分のように応援していたものだ。その人の訃報を聞くのはやはり寂しい。

小学生だった私には大切な「生きる力」と、「かっこいい男の子の美学」を学ばせてもらった気がする。

本当にありがとうございました。

日展会員 白日会会員 日本彫刻会正会員

杉木立のアトリエで彫刻を共に作ってみませんか

御感想をお寄せ下さい。

<https://douzou.jp/>

上床利秋

検索



バックナンバーも読むことができます。

♪いつでも～いつでも～君だけを～夢に見ている～僕なんだ～♪  
というシャイな歌い方で始まる「君だけを」で西郷輝彦さんが歌手デビューしたのは1964年だったそうだ。私が小学校に入学した年だ。おそらくこの歌も「星のフラメンコ」も同窓会で合唱できない仲間はいな

いだろう。

それにしても小学校低学年生が♪好きなんだけど♪と真似て歌う姿を想像するだけでも、どこか滑稽で笑ってしまう。

西郷輝彦さんは鹿児島県民の誇るあこがれのスターだった。知らない人はいなかった。ちよつとはにかみながらもストリートな歌い方は女の子だ

## レモン画材絵画教室 ご案内

- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室  
②13:30～
- 月1回 第2火曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室



お申し込みはTEL 0995-45-1015  
国分進行堂・レモン画材まで